

大郷戸アルプス山行報告

【山行日】2022年 4月 10日(日) 快晴
【集 合】道の駅「しもつけ」 AM 7:00
【費 用】マイカー2台 : 600円
【メンバー】CL:鈴木、SL:関 飯口、植竹、
小松原、嶋田、島田、廣瀬、藤原不、渡辺
【コースタイム】道の駅「しもつけ」7:00＝三ノ宮神社 P7:40/7:55～金毘羅神社 8:25～行燈峰 8:50～
鉄塔Ⅰ 9:10～鉄塔Ⅱ 9:30/9:40～大郷戸三角点 9:55～富谷山 10:30/10:45～回顧の峰 11:35/12:10
～鉄塔Ⅲ 12:30～山本三角点 12:50～東尾根休憩
所 13:00/13:10～三ノ宮神社 P13:20/13:30＝道の駅「ましこ」13:40/13:55＝道の駅「しもつけ」14:25



去年の3月緊急事態宣言時に会山行が休止になり、何処か新たなコースを登ってみたいと下見山



行に出かけた。沿面距離が12.5Kmと長く、累計標高差は870mありトレーニング山行にうってつけのコースと思い計画した。初めてのコースは人気があり、参加者10名が道の駅「しもつけ」を7時に出発する。県道310号線から国道294号線を進み、真岡市御前の交差点を右折して道の駅「ましこ」に寄ってトイレを済ませる。ここから県道257号線を東に進み、三ノ宮神社駐車場に車を止める。出発の準備を整え、ストレッチを行って神社を出発する。南

側の鳥居をくぐり農道を右に進み、山に突き当たったら右に進む。案内標識に従って歩き、荒町自然公園入口から南に進むと小高い丘に建つ浅間神社がある。ここから少し下ると山道に入り、植林帯の薄暗い尾根を進み左に下ると金毘羅神社に出る。神社で安全登山を祈願し、社殿裏の階段状の道を登り尾根道に戻る。少し先で道路に出て、ほんの少し戻ると西尾根入口の標識があり尾根道に入る。雑木林の尾根道をしばらく進むと行燈峰の分岐があり、左に登ると直ぐに行燈峰のピークに出る。狭いピークなので直ぐにUターンして分岐まで戻り、尾根道を南に向かってアップダウンを繰り返し進む。徐々に高度が上がると展望が得られるようになり、西尾根鉄塔Ⅰに出ると展望が開け周りの山々の芽吹きとヤマザクラが美しい。



少し下って夫婦坂を登り返し、中尾根展望西コース分岐を左に分けて登ると西尾根鉄塔Ⅱに出る。ここからの展望は素晴らしく、周囲の山々や日光連山の眺望が得られる。

小休止しておやつを食べながら展望を楽しみ、疲れた足を休めたら富谷山へ向かう。ここからは気



持ちが良い稜線歩きが続き、芽吹の中にヤマザクラのピンクが映える。アップダウンを繰り返しながら進み、大郷戸アルプス三大急登の大岩直登坂を登ると大岩があり、すぐ先に鏡岩と大きな岩が連続する。ここからもアップダウンの稜線歩きが続き、326mピークと大郷戸アルプス最高点の354mピークを越えて富谷山分岐に着く。ここは東西尾根コースを分ける分岐になっており、ベンチが置かれている。小休止して水分を補給し、赤土の急坂を登ると展望が良い富谷山山頂に着く。本来の山頂は

この先にあり三等三角点(365, 0m)が置かれていたようだが、現在は三角点が亡失し山頂が特定できないようだ。仮の山頂は360度の大展望が得られ、南には燕山や加波山が大きく聳え、その奥には筑波山が見渡せる。山頂でランチの予定だったが、時間が早いので果物や菓子をいただきながらゆっくり展望を楽しむ。記念写真を撮ったら下山開始し、分岐まで戻って右に東尾根コースを進む。東尾根コースは西尾根コースよりも標高が低く、なだらかなアップダウンで足に優しいコースである。



分岐からしばらく平坦な尾根歩きが続き、皆さんの会話が賑やかになる。明るく展望が良い稜線歩



きが続き、ヤマツツジの花も見られ軽快に歩いて行く。やがて岩尾根を登ようになり、急坂を登ると東尾根コース最高点の回顧の峰に出る。展望が良くベンチが有るのでランチタイムとし、お湯を沸かしてカップ麺やスープを作る。いつものお惣菜が並び、おにぎりやパンを美味しくいただいた。ここから狸転げ坂を下って273mピークに登り返し、数回のアップダウンを繰り返して進むが標高がだんだん低くなるので楽に感じる。山本三角点峰(230m)からウリ坊転げ坂を急降下し、山城跡を巻くように

進むと平坦な広場に出る。炉辺に椅子がある休憩所があり、最後の休憩を取って残ったおやつを全部出してティータイムとする。ここから少し下ると舗装道路に出て、右に進むと三ノ宮神社に戻った。靴を履き替えたら帰路につき、途中道の駅「ましこ」に寄って買い物し予定より早く道の駅「しもつけ」に帰着した。